

東京教組学習会

都立高入試へのスピーキングテスト導入の問題点

講演：大内裕和 (おおうち ひろかず) さん

(中京大学教養教育研究院教授)

都立高校の入学者選抜で22年度に実施される入試(23年度入試)から、東京都内の全公立中学校等の3年生に対して「中学校英語スピーキングテスト」を実施し、その結果を都立高校入試に活用する予定となっています。なぜスピーキングだけが別枠で必要なのか、果たして公平に採点できるのか、民間業者が入試に関係してよいのかなどこのテストには様々な問題があります。中学校だけでなく小学校の教育にも影響を与えるであろうこの問題について、大内裕和さんのお話から学び、とりくみの方向を考えていきたいと思います。

日時：3月26日(土) 13:00～14:30

完全オンラインの学習会です。

※ZOOMを用いたライブ配信によるオンラインの講演会です。

WEBみの参加となります。希望される方は

3月20日までに東京教組まで

お申し込みください。

参加費：無料

主催：東京都公立学校教職員組合

アドレス ttu@tokyokyouso.org

☎ 03-5276-1311



【経歴】

1967年、神奈川県生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得。松山大学人文学部教授、中京大学国際教養学部教授を経て、2020年度より現職。奨学金問題対策全国会議の共同代表。教育における貧困と格差や中間層解体を研究テーマとする。著書に「ブラックバイトに騙されるな」(集英社)、「奨学金が日本を滅ぼす」(朝日新書)、「ブラック化する教育2014-2018」(青土社)などがある。